



2019年1月24日

一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)

## 国際学生EVデザインコンテスト2019募集要項

一般社団法人 電気自動車普及協会(以下APEV)は、「国際学生EVデザインコンテスト2019」を開催します。

弊会では2013年から東京モーターショーの開催に合わせて当デザインコンテストを実施して参りました。

2017年から対象を『EV全般』へと変更し、次世代を担う若者の育成を主目的とし、デザインの持つ創造力・企画力を遺憾無く発揮する事により、モビリティ社会の将来のあり方や環境への新しい取り組みを世界に向けて発信して行きたいと考えております。たくさんの方のご応募をお待ちしております。

### 「記」

1. **名称:** 国際学生EVデザインコンテスト2019

2. **目的:** EVの可能性を通して次世代を担う学生を育成すること

#### 3. 体制

- ・主催: 一般社団法人電気自動車普及協会(APEV)
- ・後援: 環境省、経済産業省、国土交通省、公益社団法人自動車技術会、東京大学大学院情報学環、東京都、一般社団法人日本自動車工業会(申請予定、50音順)
- ・協賛: 募集中

#### 4. 組織: EVデザインコンテスト実行委員会

- ・委員長: 山下敏男(APEV理事、INTERROBANG DESIGN 株式会社代表、首都大学東京客員教授)
- ・副委員長: 有馬仁志(APEV理事、有馬マネジメントデザイン株式会社代表取締役社長、横浜スマートコミュニティ代表)
- ・事務局: 一般社団法人電気自動車普及協会(APEV)

#### 5. 審査委員

- ・審査委員長: 中村 史郎氏(CEO (株) SHIRO NAKAMURA DESIGN ASSOCIATES、元日産自動車(株)専務執行役員)
- ・審査委員:
  - 安藤 忠雄氏(建築家、東京大学名誉教授)
  - 奥山 清行氏(工業デザイナー、KEN OKUYAMA DESIGN 代表)
  - 長屋 明浩氏(ヤマハ発動機(株)執行役員デザイン本部本部長)
  - パトリック・ルケモン氏(工業デザイナー、元ルノー副社長)
  - ジャン・ファ 氏(広州自動車グループデザイン担当副社長)
  - 田嶋 伸博(一般社団法人電気自動車普及協会代表理事)

## 6. 募集課題と審査

★課題:ゼロエミッションEVの可能性を最大限に活用した未来のモビリティとその社会のかかわりのデザイン提案  
(地上を走るのを基本とする)

### 1) 1次審査(20チーム前後を選ぶ)

・下記2点の課題を審査する

- ① 実際の使用シーンを考えて(1)ユーザー(2)インフラ(3)パッケージング(4)新しい技術を使って何をするのか?を文章や必要に応じて図やグラフで説明する
- ② 使用シーンを含んだスケッチ(注):手書き可

・1次審査通過チームにはワークショップ1に参加する権利が与えられる

### 2) 2次審査(8チーム程度のファイナリストを選ぶ)

・下記2点の課題を審査する

- ① 1次審査に同じ
- ② 使用シーンを含んだスケッチ(注)のデータ:2Dデータ及び3Dデータ

・2次審査通過チームにはワークショップ2に参加する権利が与えられる

(注):スケッチは、外観(エクステリア)は必須、内装(インテリア)はオプション

### 3) ファイナリストは、通知されてから表彰式までの間に、提案したEVのデジタルデータを元に

(1)ユーザー(2)インフラ(3)パッケージング(4)新しい技術を使って何をするのか?を説明するポスター(B1サイズ1枚)を作成せねばならない

### 4) 最終審査&表彰式

全てのファイナリストは東京モーターショー会期期間中に東京で行われる表彰式の場で作品のプレゼンテーション(パワーポイントにより5分程度)を行い、その結果を含む最終審査により最優秀賞(グランプリ)を始めとする各賞が決定され、表彰される

注):東京モーターショー会期:2019年10月24日(木)~11月4日(月・祝)

### 5) ファイナリストの作品展示

全てのファイナリストの作品は、東京モーターショー会期期間中に東京で、ポスター等が展示される

## 7. 参加資格

- 1) 2019年4月時点で18歳以上の学生(学校の種類は問わず、2名~6名のチームも可、1校で複数チームも可)
- 2) エントリー費:無料
- 3) 主催者が指定するSNSに登録し、各種案内にタイムリーに回答できること
- 4) 所属する学校の教員がコンテスト参加を承認し、参加者を指導できること
- 5) 11項の「注意事項」及び12項の「個人情報の取り扱いについて」に同意すること
- 6) 応募作品やコミュニケーションに使用する言語は英語とする(母国語を併記することは可能)

## 8. 審査基準

- 1) オリジナリティ: アイデアが独創的でコンセプトが明快であり且つ実現の可能性が感じられる
  - 2) デザイン: 時代性・社会性を反映し魅力的である
  - 3) プレゼンテーション力: プレゼンテーションの表現力、説得力が高い
- \* 応募者自身のオリジナル作品で、国内外で未発表であること

## 9. 賞: ファイナリストに与えられる

- 1) 最優秀賞 副賞20万円
- 2) 経済産業大臣賞、国土交通大臣賞(副賞各10万円)を申請予定。
- 3) 協賛・協力企業が提供する賞(賞の内容は協賛社により別途決定)
- 4) 東京モーターショー会期中に東京で作品発表(展示及び表彰式でプレゼンテーション)する機会
- 5) トロフィー授与
- 6) コンテスト2019年作品集冊子への掲載

## 10. 概略日程

- 2018年9月21日(金)カーデザインワークショップ(済)
- 2018年10月26日(金): 協賛募集説明会(済)
- 2018年12月20日(水): 1次協賛応募締切(済)
- 2019年1月25日(金)13時30分ー: 記者発表会@福武ホール(募集要項・1次協賛発表)
- 2019年2月5日(火): エントリー開始
- 2019年4月30日: エントリー締切
- 2019年5月31日: 1次作品提出締切
- 2019年6月12日: 1次審査結果発表
- 2019年6月下旬: ワークショップ1 東京
- 2019年8月14日: 2次作品提出締切
- 2019年8月31日: 2次審査結果発表
- 2019年9月中旬: ワークショップ2 東京
- 2019年10月末~11月初: 最終審査と表彰式@東京
- 2020年2月~3月: 最終報告会

(予定は予告なく変更される場合がある)

## 11. 注意事項

- ・応募作品は、応募者自身のオリジナル作品であり、国内外で未発表のものに限る。
- ・公序良俗その他法令の定め反するもの、誹謗中傷を含むもの、著作権その他第三者の権利を侵害しているものは、審査の対象外となる。また、受賞発表後であっても、これらの条件に反していることが判明した場合、受賞を取り消す。
- ・他のコンペへの二重応募は認められない。また、応募後は主催者の同意なしに他に公表しないものとする。
- ・提出された資料は原則として返却しない。必要な場合は予めコピーを残した上でご応募すること。
- ・作品制作における費用はすべて応募者負担。
- ・受賞の有無にかかわらず、応募作品に関する意匠、発明(特許)、実用新案、商標、著作物その他全ての知的財産

